

平成27年度「GKP広報大賞」エントリーシート

| | |
|---------------------------|---|
| エントリーする団体名の名称 株式会社 明電舎 | 担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 営業企画部 宣伝課 |
| 代表者氏名 取締役社長 浜崎 祐司 | 川口 大裕 Tel : 03-6420-7617 ✉ : kawaguchi-d@mb.meidensha.co.jp |
| (他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称 | 担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 |

| | |
|-----------|--------------------------------|
| 部門名 広告 | 事例名 「暮らしと下水道事業と電気技術」 (TVCM) |
|-----------|--------------------------------|

事例の概要 (適宜、写真、図、記事の画像等を入力して下さい)



当社社員 鈴木とアヒルの掛け合い



現在の三河島水再生センター



旧三河島污水処分場ポンプ場設備

■概要

日本の近代的下水処理が始まった三河島。90年以上にわたってそこに暮らす人々の生活を支えてきた三河島水再生センターの下水処理と、その事業を支える当社の電気設備の存在を、隅田川を舞台に当社社員鈴木とアヒルのユーモラスな掛け合いで訴求しました。

■狙い

20代の若年層を中心として、幅広い年齢層をターゲットに制作。社員とアヒルのユーモラスな掛け合いを通じて、普段接することの少ない「下水処理」と「電気技術」の関係性をアピールし、下水処理という事業を身近に、親しみを持って感じてもらうことが狙いです。

エントリー事例の特徴 (施策等そのものの特徴ではなく、施策等を発信する広報戦略及びその効果が優れていると考えている点を明記願います)

■TVCMを入口として、グラフィック広告、CM特設Webページとの連動により、多角的な宣伝活動を展開。下水処理という事業の大切さを理解してもらい、親しみを持ってもらうこと。そして、それを支える当社の事業についての認知/理解度向上を目的に活動しました。

付属資料の提出

(あり) ・ なし (どちらかに○)